流星人間ゾーン（1973）

メディア TV
ジャンル 特撮　ヒーロー
製作国 日本
色彩 Color
TV放映 1973/04/02 ～ 1973/09/24
月曜日
１９：００～１９：３０
日本テレビ

【解説】
「地球から遠く離れた大宇宙、平和の星ピースランド。その平和も悪魔の星ガロガの野望に一瞬にして破られた。ピースランド壊滅。安住の地を失ったピースランド星人たちはファミリーごとにパンドラカプセルにのり平和の星を求めて流星人間となったのだ。一方、地球を第２の攻撃目標にしたガロガは宇宙要塞を建設、恐獣ミサイルが地球を狙った（恐獣ミサイルが弾けてジキロが出現。「フンギャ～！」）。流星人間をのせたカプセルの１ファミリーだけが地球に漂着した。彼らは新地球人としてガロガ星人と対決した。そのファミリーの名は、流星人間ゾ～ン。」というオープニングのナレーションが設定のポイントを語り尽くしている。
地球に漂着したファミリーは防人家と名乗り、普段はごく普通の家族として過ごしているが、いざガロガの陰謀を察知すると、光、蛍、明の三兄弟がそれぞれゾーンファイター、ゾーンエンジェル、ゾーンジュニアに変身し、恐獣の猛威を退ける。
本作はゴジラが登場するテレビ作品として語られることが多いが、御大キングギドラまでが登場しつつも意外にアッサリ引き下がってしまう（テレビの放映枠では致し方ないが）展開は、少々肩すかしと感じるかもしれない。やはりゴジラやキングギドラ、ガイガンの登場は、あくまで楽しいオマケなのであり、番組を見ていた子供たちが夢中になったのは作品そのものの面白さが第一級だったからだ。
ゾーンファイターの凛々しいデザインと、両の腕からミサイルを連発するミサイルマイトのド迫力、更にマイティライナーをはじめとする格好いいメカ、三沢郷の流麗な音楽と、子門真人の炸裂する歌唱等々が、真に魅力的だったのである。三兄弟が揃って変身すること、主人公が等身大ヒーローと巨大ヒーローに２段変身すること等、既に他の作品で試みられた趣向ではあるが、絶妙な取り合わせで心躍る作品世界を作り上げている。またガロガが単に恐獣を送り込むだけではなく、人間社会に紛れ込み暗躍しているという設定も二重丸だ。これはヒーローが等身大で活躍する必然性を作り出すことに成功している。ガロガは地球人そっくりに変身できるが、指の間の水掻きだけは隠せないことから、当時の子供たちは大人を見ると水掻きがないかチェックした。等身大の集団ヒーローの活躍から東宝怪獣映画の世界まで、本作はあらゆる要素を取り込むことで最高の贅沢品に仕上がっている。唯一惜しまれるのは、ストーリーが完結していない点だ。

【クレジット】
監督 福田純
小栗康平
本多猪四郎
古澤憲吾
菊池昭康
蓑輪雅夫
監修 田中友幸
企画 高橋薫明
土門弘

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

プロデューサー	衛藤公彦	
	高橋修之	（日本テレビ）
	西川善男	
脚本	福田純	
	神沢信一	
	武末勝	
	島本十郎	
	石狩あきら	
	胡桃哲	
	古保則夫	
	雨宮雄児	
撮影	中尾成雄	
	富岡素敬	
	柿沼勝	
	鶴見孝夫	
特殊効果	久米攻	
美術	滝ヶ崎和男	
	小村完	
	内田欣哉	
音楽	三沢郷	
技斗	橋本春彦	
特殊技術	中野昭慶	
	川北紘一	
アクション	図師勲	
	久須美護	
	二家本辰巳	
ナレーター	小林清志	
出演	青山一也	防人光／ゾーンファイター
	北原和美	防人蛍／ゾーンエンジェル
	佐藤賢司	防人明／ゾーンジュニア
	中山昭二	防人陽一郎
	上月左知子	防人月子
	天草四郎	防人雷太
	小原秀明	城たける
	荒木保夫	
	大前亘	
	幸田宗丸	
	菊池英一	
	田尻陽一郎	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.